

別紙1 等価騒音レベル総括表

単位: dB

区分	予測地点	高さ	定常騒音	変動騒音	衝撃騒音	自動車走行騒音	等価騒音レベル (合成値)	環境基準値	評価
昼間	A	1.2m							
	B								
	C								
	D								
	A	4m							
	B								
	C								
	D								
	A	〇m							
	B								
	C								
	D								
夜間	A	1.2m							
	B								
	C								
	D								
	A	4m							
	B								
	C								
	D								
	A	〇m							
	B								
	C								
	D								

予測地点	選定理由	環境基準地域類型	用途地域の指定状況	新潟市からの指導事項
A				
B				
C				
D				

注1) 「環境基準地域類型」を環境対策課で確認してください。

この際、予測地点が環境基準類型指定地域外である場合には、現在及び将来の土地利用状況を勘案して類型指定の区分を当てはめることになります。(「騒音に係る環境基準及び規制基準と都市計画法の用途地域との関係」参照)

注2) 予測地点及び環境基準の地域類型を図面上に表示してください。

## 別紙3 等価騒音レベル計算表(定常騒音・変動騒音・衝撃騒音)

予測地点	X座標	Y座標	Z座標
A			
B			
C			
D			

注) 予測地点の座標はすべて記載し、対象とする予測地点に○を付してください。

騒音発生源							距離減衰		回折減衰				予測地点における騒音レベル (dB)	継続時間		稼働時間帯	等価騒音レベル		座標	
騒音種類	No.	発生源	発生源の高さ (m)	基準距離における騒音レベル (dB)	基準距離 (m)	卓越周波数 (Hz)	出典・根拠	距離減衰量 (dB)	予測地点までの直線距離 (m)	回折減衰量 (dB)	行路差 (m)	フレネル数《N》	備考	昼間 (s)	夜間 (s)		昼間 (dB)	夜間 (dB)	発生源 (X、Y、Z)	回折点 (X、Y、Z)
定常		冷却塔																		
		室外機																		
		給排気口																		
合成値(定常)																				

騒音発生源							距離減衰		回折減衰				予測地点における騒音のエネルギー的な時間平均値 (dB)	継続時間		積算根拠	等価騒音レベル		座標	
騒音種類	No.	発生源	発生源の高さ (m)	基準距離における騒音のエネルギー的な時間平均値 (dB)	基準距離 (m)	卓越周波数 (Hz)	出典・根拠	距離減衰量 (dB)	予測地点までの直線距離 (m)	回折減衰量 (dB)	行路差 (m)	フレネル数《N》	備考	昼間 (s)	夜間 (s)		昼間 (dB)	夜間 (dB)	発生源 (X、Y、Z)	回折点 (X、Y、Z)
変動		荷さばき車両 アイドリング																		
		荷さばき車両 後進警報ブザー																		
		荷さばき作業 台車走行音(平坦路走行時)																		
		廃棄物収集車両 アイドリング																		
		廃棄物収集車両 後進警報ブザー																		
		廃棄物収集作業 非圧縮時																		
		廃棄物収集作業 圧縮時																		
		BGM、アナウンス等 営業宣伝活動																		
合成値(変動)																				

騒音発生源							距離減衰		回折減衰				予測地点における単発騒音暴露レベル (dB)	発生回数		積算根拠	等価騒音レベル		座標	
騒音種類	No.	発生源	発生源の高さ (m)	基準距離における単発騒音暴露レベル (dB)	基準距離 (m)	卓越周波数 (Hz)	出典・根拠	距離減衰量 (dB)	予測地点までの直線距離 (m)	回折減衰量 (dB)	行路差 (m)	フレネル数《N》	備考	昼間	夜間		昼間 (dB)	夜間 (dB)	発生源 (X、Y、Z)	回折点 (X、Y、Z)
衝撃		荷下ろし作業 リフトと床面の衝撃音																		
		荷下ろし作業 リフト昇降音																		
		荷さばき作業 台車走行音(路面の段差を越えた時)																		
		荷さばき作業 シャッター、扉等開閉音																		
合成値(衝撃)																				
予測地点・高さ																	昼間	夜間		
合成値(dB)																				

別紙4 等価騒音レベル計算表(自動車走行騒音)

予測地点		X座標	Y座標	Z座標
	A			
	B			
	C			
	D			

注1) 予測地点の座標はすべて記載し、対象とする予測地点に○を付してください。  
注2) 座標原点を図面上に表示してください。

走行経路No.	騒音発生源		離散点音源No.	減衰量						予測地点における騒音レベル		離散点音源			単発騒音暴露レベル (dB)	交通量		等価騒音レベル 小型車+大型車		回折点の座標  離散点音源 (X、Y、Z)
	A特性音響 パワーレベル (dB)	走行速度 (km/h)		距離減衰		回折減衰			その他減衰	小型車 (dB)	大型車 (dB)	離散点音源間の 走行時間 (s)	離散点音源の 間隔 (m)	離散点音源の数 (m)		昼間 (台)	夜間 (台)	昼間 (dB)	夜間 (dB)	
				距離減衰量 (dB)	予測地点までの距離 (m)	回折減衰量 (dB)	行路差 (m)	フレネル数《N》	備考											
	【小型車】	【小型車】	1												【小型車】	【小型車】	【小型車】			
			2																	
			3																	
	【大型車】	【大型車】	4												【大型車】	【大型車】	【大型車】			
			5																	
			:																	
	【小型車】	【小型車】	1												【小型車】	【小型車】	【小型車】			
			2																	
			3																	
	【大型車】	【大型車】	4												【大型車】	【大型車】	【大型車】			
			5																	
			:																	

	予測地点・高さ	昼間	夜間
合成値(dB)			

注3) 離散点音源は、原則として走行経路を10分割し、その中間に設定してください。  
注4) 回折減衰の「備考」は、減衰量算出に当たって考慮した事項(回折の方向、回数等)を記載してください。

別紙5 自動車走行騒音の予測に用いた自動車走行経路(線分)の座標及び交通量

走行経路No.	起点の座標			終点の座標			交通量【小型車】				交通量【大型車】			
	X	Y	Z	X	Y	Z	昼間(台)		夜間(台)		昼間(台)		夜間(台)	
							柵分	割振	柵分	割振	柵分	割振	柵分	割振

注1) 柵分とは「単位交通量」、割振とは「通過交通量」をいいます。  
注2) 座標原点を図面上に表示してください。